



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

2007号

会 長	北砂明彦	会長エレクト	阿萬正巳	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	石川健次	幹 事	野口 宏		大和中央ビル 301
プログラム・	橋本日吉	鈴木洋子	肥田 昭		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
クラブ会報担当	辻 彰彦	板垣克浩			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	さらばし銀行	大和支店 4F (毎週木曜日)			URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

「ロータリーは機会の扉を開く」

RI会長 ホルガー・クナーク

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「会える喜び、楽しみ、笑顔を広げよう」

【本日のプログラム】 11月19日 夜間移動例会「東慶州RC訪日合同例会に代えて」会場 北京飯店

【次回予告】 11月26日 卓話「東慶州RC訪日 合同例会に代えて」会場 北京飯店

【第2000回例会】 令和2年11月12日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君

【斉唱】 「君が代」「我等の生業」 【ソングリーダー】 向井 嘉男 君

【ゲスト】 前川 朋子 様(財団学友)

## 会長の時間 北砂 明彦 会長

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団について少し紹介いたします。1917年、当時の会長アーチ・クランプが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表。26ドル50セントの寄付でスタートした財団は、世界有数の財団に成長し、何百万という人のために人道的支援を行ってきました。100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。



ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付が世界にもたらす影響

わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます。・50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。・500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。

ロータリーの会員は、それぞれのスキル、専門知識、リソースを生かして、世界のさまざまな問題の解決に取り組んでいます。きれいな水と衛生設備の提供や平和の推進など、

ロータリー財団の補助金を通じて多くのアイデアが実現しています。

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。

人道的プロジェクト。奨学金：大学院レベルの留学。職業研修チーム(VTT)：専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣。

地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。各地区は、この補助金を配分するプロジェクトを独自に選びます。

人道的プロジェクト(奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など)。奨学金(教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし)。青少年プログラム(ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム[RYLA]、ローターアクト、インターアクト)。専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣(現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム)

米国コロラド州デュランゴのロータリー会員はナバホ・ネイションと手を組み、米国最大の先住民族保留地で、電気が行き届かない僻地の家庭にソーラーライトを設置する活動を行っています。先住民族を象徴するカボチャの花形のべ

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 7名(敬称略)
27名	20名	76.92%	73.08%	1名	原嶋、池澤、板垣、岸、苗加、竹野

ンダントやプレスレット。これらの工芸品を数十年も作り続けてきたナバホ族のジェリー・ドミンゴさんは、視力の衰えを感じ、「この仕事を止める潮時」とか、考えていました。家の玄関からほんの数メートル先に送電線が通っているものの、電気を引くには電力会社に求められる許可申請や工事に3万米ドル以上かかります。

現在は伝道のために保留地全域を巡りながら作品を売っていますが、視力の衰えとともに細かい作業が難しくなってきました。今ではカボチャの花形のネックレスをひとつ完成させるのに、丸四日もかかってしまいます。夜になると、灯油ランプの明かりだけが頼りですが、手元が暗すぎます。日中でも家の中は影になってしまうので、金属を薄くそぎ、槌で打ち、はんだ付けして工芸品に仕上げるという一連の作業は容易ではありません。

ロータリアンの方のジョー・ウィリアムズさんは、1960年代にチェッカーボード地域で育ちました。現在ドミンゴさんの家が建っている場所からそう遠くないところです。父親が天然ガス会社で働いていたため、ウィリアムズさんも14歳で石油ガス業界で働き始めました。ナバホ族の子供たちのなかで数少ない白人として、片道77キロメートルをスクールバスに乗って通学していた時のことを今でも覚えています。ウィリアムズさんは今ではニューメキシコ州アズテックで業務用浄水設備の会社を営み、多くのナバホ族の従業員を抱えています。北へ56キロメートルほど離れたデュランゴ・デイブレイク・ロータリークラブに入会したのは、1996年のことです。

ウィリアムズさんは国際奉仕活動に熱心で、2013年にはネパール訪問団の一員としてグレート・ヒマラヤ・トレイルを歩き、ハイカーたちに食料と宿泊施設などのサービスを提供する茶屋にソーラーライトを設置しました。アンナプルナやエベレストの山脈のふもとにある僻地に電気が通っていないと聞いても驚きませんでした。一行が帰国後、デュランゴで土木技師をしている新会員のナンシー・ラウロさんが、挑発的な質問を口に出しました。「発展途上国と同じような状況が車で数時間のところに存在しています。なぜ隣人であるナバホ族に手を差し伸べないのですか」娘がロータリー青少年交換に参加したことがきっかけで入会したラウロさんは、こう語ります。「デュランゴから南へ行くには必ずナバホ・ネイションを通ります。また、デュランゴ地区の住民の多くは、先住民族の人たちと同じ職場や学校に通っています。クラブがネパールでソーラーライトを設置したのなら、“地元でも同じことをするのが当然”だと皆が考えるようになりました」紳士的な雰囲気と湧き出るエネルギーをあわせもつウィリアムズさんは、歩くときに前かがみになり、パーキンソン病のため時折ふらつきますが、強い意志で病気の進行を食い止めています。昨年1年間だけで、ボランティア奉仕のため自費で90回も保留地に足を運びました。

「灯油ではなく太陽光による明かりが家に灯されるのを見るのは、人生を変えるような瞬間」とウィリアムズさんは語ります。「もう月に20ドルも灯油代を払わずに済むのです。ランプのすすによる病気にかかる心配もなくなります。生活が一変するのです」

ジョー・ウィリアムズさんとデュランゴ・デイブレイク・ロータリークラブは、プロジェクトを継続して保留地の人びとの暮らしを変えたいと願っています。ナバホ・ネイションと協力して、ソーラーユニットの増設とナバホ族の若者をソーラー技術

者として養成するための助成金を募っています。現時点で進展はゆっくりとしたものですが、グループは粘り強く進めています。

「ナバホ族には、『私たちには時間がある。今日できないことも明日にはできる』ということわざがあります」とジョー・ウィリアムズさん。「設置は毎年続けます。成果が誰の目にも明らかなので、多くの支援もいただいています。今は電気がなくても、ソーラーライト1台の購入費用の約300ドルを賄うあてのある人たちから、既にライトの購入希望が寄せられています」

ある日の夕方、古い机の上でカボチャの花形のネックレスを作りながら、ドミンゴさんは語ってくれました。「今は暗くなっても銀細工ができます。私の部族は多くの人が電気や明かりを必要としています。皆さんがプロジェクトを進めてくださるのは本当にありがたいことです」

ベルリンに辿り着いた何千人もの難民たち。しかし、そこで待ち受けていたのは医療制度の壁でした。ロータリアンで医師のピーア・シュカラビス・ケルフェルトさんは、3年の歳月をかけてボランティア医師のネットワークを築き、助けを必要としている人びとに救いの手を差し伸べています。

## 幹事報告 野口 宏 幹事

- ①11月のロータリーレートは104円です。
- ②厚木RC名誉会員黄金井一太様の訃報が届きました。
- ③2019-2020年度青少年交換帰国報告会の映像がYouTubeでご覧いただけます。
- ④地区よりインドへの緊急国際支援要請に対するご協力のお礼が届きました。

## 委員会報告

### 【お祝いの方々】

親睦活動委員会

阿萬 正巳 副委員長

会員誕生日	野口 宏 君	11月12日
配偶者誕生日	藤田 真佐子 夫人	11月16日
	竹野 明日子 夫人	11月21日
結婚記念日	橋本 日吉 君	11月21日
創業記念日	橋本 日吉 君	11月13日

## 卓 話

### 「コロナ渦の音楽業界と私の取り組み」

財団学友 前川 朋子 様

本日は卓話の機会をお与えいただき、ありがとうございます。

1996-97年度国際親善奨学生、財団学友、ソプラノ歌手の前川朋子と申します。スポンサークラブは藤沢東RCでございました。ドイツ・デトモルト音



大に在籍し、その後イタリアにて研鑽、現在は東京二期会、日本シベリウス協会などに所属し、演奏活動を致しております。



す。これまでの経歴、活動などはこちらに[www.art-prima.com](http://www.art-prima.com)載せてございますので、よろしければご覧ください。

#### ◇コロナ渦の音楽業界◇

現在、世界中でコロナウイルスの感染が拡大しております。再度の都市封鎖や外出規制などにより、経済の落ち込みも深刻です。人の集まる劇場なども閉鎖を余儀なくされ、演奏会・オペラは延期は疎か、休演となってしまっています。現在、大きな影響を受けている欧米の音楽業界の最新状況について、私にとって縁のある国、ドイツ、イタリア、オーストリア、フィンランドと、そして米国、日本を挙げて、お話をさせていただきたいと思えます。

イタリアは、北部ロンバルディア州(州都ミラノ)を中心に、感染者の累計は全国で90万2000人、死者数は4万1000人。ヨーロッパ内ではフランスに次いで、2番目に多い数となっています。11月6日から、北部の州 ロンバルディア、ピエモンテ、ヴァッレ ダオスタ州と、イタリア半島の爪先部分にあたるカラブリア州は、レッドゾーンに指定され、バー、飲食店の閉鎖、通勤、緊急、運動以外の外出禁止、どうしても必要な外出には許可証の提出、という厳しい措置が取られています。その他の州でも夜間22時から早朝5時まで外出禁止になっています。

イタリアといえばオペラの本場です。その中でも最も権威あるオペラ劇場、ミラノ・スカラ座のWebサイトをご覧ください。<https://www.teatroallascale.org/en/> このように現在12月5日まで休演となってしまっています。・・・払い戻し手続きも大変です。皆様はおそらく「オペラ」といえば、舞台に出ている歌手や、指揮者、オーケストラなどに気を向けられるかと思いますが、裏方を支えるスタッフの数は、じつは舞台上の人数も何倍もいます。これら全ての人の仕事がストップしてしまう状況を思えば、やはり1日も早く、コロナが収束してほしいという心情になります。

さて、続いてドイツですが、こちらは感染者累計は65万人、死者数は1万1200人。1日の感染者数は1万9000人を数え、このところ最多を更新しております。政府は11月2日から月末まで、レストランやバー、ジム、プール、映画館、劇場を閉鎖しました。写真はベルリンフィルのWEBサイトです。



ドイツが文化芸術を大切にしている国であるという認識を、一気に世界に広めたのは、コロナ危機下の芸術家への支援金措置ではないでしょうか。ドイツ政府は「芸術家は必要不可欠であるだけでなく、生命維持に必要なのだ」と、個人に5000・(約60万円)の支援を決め、それはすぐに実行さ

れました。ちなみに、イタリア在住の歌手の友人にこのことを聞いてみました。イタリアでも舞台芸術関連などの従事者への支援金は3月に600・(約7万2000円)と決まったものの、なかなかすぐには支給されず、彼女の知人たちは「ドイツ人が羨ましい！」と言っていたそうです。

オーストリアの感染者数は累計16万6745人、死者数は1409人、1日の感染者数は6598人、ここに来て感染拡大が止まらず、外出制限が敷かれています。ウィーン国立歌劇場のトップページを見ると、このよう画像になっていました。公演は12月6日までキャンセルとなっていますが、アーカイブ配信を毎日現地時間夜7時(日本時間午前11時)から行っており、一度登録すれば、無料で鑑賞することができます。<https://www.wiener-staatsoper.at>

他の歌劇場やオーケストラでも、このように無料でアーカイブ配信を行っているところが多くあり、オペラファンのみならず、外出できない人々に、慰めと楽しさを提供しています。英語ページがありますので、わかりやすいと思えます。ぜひこの機会に触れてみてはいかがでしょうか。

フィンランドの累計感染者数は17870人、死者数は362人と、欧州で最も少ない数を示しており、感染対策を行いながら、日常が戻りつつある状況です。IT先進国とあって、リモートワークへの移行が比較的スムーズであったということも特徴に挙げられます。私は過去4回フィンランドに行っておりますが、「森と湖の国」の人口密度は低く、首都のヘルシンキであっても、日本のような混雑はまず見たことがありません。そんなことも起因しているのかもしれない。

米国はこれまでの感染者数1025万人、死者数は23万9000人と甚大です。国内外からの観光客で賑わうブロードウェイも、今は人影なく、来年5月末まで劇場は閉鎖。オペラの殿堂、メトロポリタンオペラは、来年の9月公演まで休止。メトロポリタンオペラのWEBサイトを訪れると、素晴らしいストリーミングコンサートの案内がありました。20ドルで見ることができるよう。又、無料で、アメリカ人作曲家フィリップグラスのオペラAkhnatanを一本視聴できます。画面上のDonate nowのボタンを押すと、支援を呼びかける案内があり、25ドルから1000ドル、それ以上まで、額を自由に選択し寄付できるようになっていました。

日本の音楽業界は制限も緩和され、今では下記のような条件で演奏会、イベントなどを開催することができるようになりました(出典:WEB朝日新聞)

イベント開催制限、こう変わる			
現在		9月19日~11月末	
屋内	屋外	クラシックコンサート、演劇、歌舞伎、展示会、遊園地、美術館、映画館など 参加者が歌声、声援を発しないもの	スポーツイベント、ロック・ポップスのコンサートなど 参加者の歌声、声援が想定される
収容率 50%以内	十分な間隔	100%以内	50%以内
人数上限 5000人	5000人	定員1万人以下の会場では 5000人	定員1万人超の会場では 収容人数の50%

しかし、演劇やコンサートなどで、ひとたび出演者で感染者が出れば、公演の見送りや中止といったリスクと背中合わせであり、主催者や出演者の気苦労は計り知れません。又、渡航制限で来日できない外国人指揮者も多く、急遽日本人指揮者に仕事があわって来て、バタバタする・・・という話がある著名指揮者の方からは聞いております。

年末恒例の第九は、中止、あるいは開催がいまだに未

決定であったり、事前録音のオンライン開催など、混迷と多様化を辿っています。長期に渡るコロナ渦により、歴史あるオーケストラの存続さえ、困難となりつつあります。各音楽団体は、寄付を募っている状況です。やがて状況が回復し、再び生の音楽が人々に活力と癒しを与えられるようになることを願っています。

#### ◇コロナ渦をきっかけとした私の取り組み◇

コロナウイルス感染拡大により、私の活動も少なからず影響を受けました。例えば主催コンサートの企画中止、出演依頼されていた某イベントの中止、某交響楽団の来年度公演延期、声楽レッスン休止、など。しかし、この機会にこそできることを、と考え、オンラインレッスンの充実を図ったり、マイク、ミキサーを購入し、自宅レコーディング・DTM楽曲制作に力を入れたり、レパートリーの練習、ライブ配信の試み(高音質へのこだわり)などを日々重ねました。

昨年5月からカフェトークという大手の習い事サイトにて、ヴォイストレーニング、声楽のマンツーマンレッスンを開設しておりましたが、外出自粛期間の頃には生徒が急増し、日本のみならずイタリア、シンガポール、台湾からの受講もありました。数をこなすうち、オンラインレッスンに必要なコミュニケーション方法なども熟練しました。現在レッスンを継続している生徒さんはもちろんおられますが、外出自粛期間の後は徐々に減り、オンラインレッスンという形態の難しさも実感しました。

私の祖母は101歳で、高齢者ホームで生活していますが、クラスター発生を防ぐため、施設への外部からの訪問は制限されています。家族に会えず、外出もできないお年寄りが全国にいらっしゃることを思い、「Pax Musica 歌のやすらぎ」と題した、オンラインプログラムを立ち上げました。

只今モニターキャンペーンを行っていますので、お知り合いに施設関係者の方などいらっしゃいましたら、ぜひご紹介くださいませ。よろしく願いいたします。<https://www.art-prima.com/paxmusica/>

#### ◇まとめ◇

新型コロナウイルスの多大な影響により、様々な生活の局面で、劇的な変化が起きました。ポストコロナ時代においても、リモートワークは定着する可能性があり、そのことで価

値観や生活スタイル、人の動向、人の心も大きく変化していくでしょう。音楽家、音楽業界にとって、けして無関係ではなく、考えさせられるテーマです。

世界諸国の経済回復はまだまだ先となりそうですが、最近のニュースでは、ようやくワクチンが生産段階とのことで、一縷の希望となっています。人と人との接触を避ける日常となって、私たちはかえって大切なものに気づかされたと思います。歌を通じ、その大切さをこれからも伝えて参りたいと思います。

#### ◇おわりに◇

最後になりましたが、ロータリアンの皆様方、RI財団へのご理解とご協力を誠にありがとうございます。おかげさまで、私の音楽人生にとって、最初にロータリーで留学させていただいたことは、かけがえのない財産となっています。人道支援や医療、その他様々な研究分野で、国際的に活躍する学友の話を知った時、心から感動し、勇気を与えてもらっています。次世代の人材を輩出すべく、今後ともよろしく願いいたします。

感染者数データ出典：ロイター



スマイルボックス 石川 達男 委員長 本日 ¥8,000 累計 ¥214,000

北砂 明彦 会長、野口 宏 幹事、

本日は2000回例会となりました。卓話に財団学友の前川朋子様にご参加頂いております。2000回記念に歌も披露頂けますので、これからも3000回目指し楽しみましょう。

野口 宏 君

2000回記念例会に誕生日が重なりました。お祝いありがとうございます。

阿萬 正巳 君

先日行われたAG杯、ベストグロス賞を取ることが出来ました。辻AGから前々日にベストグロス賞品は何が欲しいと電話があり、相当プレッシャーをかけられました。無事に取れてホッとしています。

肥田 昭 君

本日は2000回の節目の会、おめでとうございます。昨日はAG杯参加させていただき、天気も良く一日楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

橋本 日吉 君

41回目の結婚記念日、そして明日創業記念日を祝っていただき、ありがとうございます。葬儀用38年目、会社設立36期目です。今後とも皆様のご支援により、創業40年、50年を目指して参りたいと思います。よろしく願いいたします。

石川 達男 君

11月はロータリー財団月間にあたります。皆様よろしくお願い申し上げます。財団学友であります前川さんに卓話いただきます。